

「秋田県食品産業振興ビジョン」の素案について

食のあきた推進課

1 策定の趣旨

- ・人口減少、高齢化による国内需要の縮小やコロナ禍における消費ニーズの変化、原油・原材料高騰など、食品産業は大きな転換期を迎えており、こうした変化に対応し、強い食品産業を構築していくためには、時代の潮流を的確に捉え、将来をしっかりと見据えた施策を展開していく必要がある。
- ・本県食品産業の振興及び地域経済の活性化を図るべく、今後の施策の方向性を明らかにする指針としてビジョンを策定する。

2 位置づけ

「新秋田元気創造プラン」を補完し、「秋田県中小企業振興条例」を踏まえながら、本県食品産業の振興に向けた施策の方向性を明らかにする指針とする。

3 期間

概ね10年先を見据えた当面の3年間
令和5年度～令和7年度

4 目指す姿と方向性

目指す姿

秋田らしさを超える新たな価値を創造し、国内外の市場で優位性を確保する食品産業の実現

～ 原料・技術など、食に関わる資源をゼロベースで見直し、経営体質の強い食品事業者を育成するとともに県産品のプレゼンスを高める。～

施策の方向性

 **賃金水準向上を牽引する中核企業を育成**

1：食品製造事業者の競争力強化

- ・食のリーディングカンパニーの創出、事業者間連携、デジタル技術の活用 等

 **市場の中で存在感を放つ商品の開発**

2：時代のニーズを先取りした商品づくり

- ・「健康」や「安全」、「美・オシャレ」、「持続可能性」など、新たな切り口での商品開発の促進 等

 **食品産業のミライを担う若い世代を強力に後押し**

3：秋田の「食」のミライを切り拓く人づくり

- ・若い世代の斬新なビジネスアイデアの実現を支援、食品産業の人材育成 等

 **新たな秋田の顔となる食ブランドの確立と国内外への売込み**

4：「食」のブランド化と輸出を含めた県外への販路開拓の強化

- ・食品産業におけるSDGsの推進、食品の輸出拡大に向けた支援の強化 等

 **異業種連携により他にはない新たな価値を付与**

5：関連産業との連携強化による「食」の高付加価値化

- ・地域の特性を活かしたツーリズムの推進 等



目標

10年後の姿

(1) 年商20億円以上の事業者の育成

12社 → 20社以上

※うち年商100億円以上の事業者の育成

0社 → 3社以上

(2) 1事業所あたりの製造品出荷額等 2割向上

3.9億円 → 4.6億円

5 今後のスケジュール

- ・ 9月 素案（議会）、パブリックコメント
- ・ 10月 第2回「秋田県食品産業振興ビジョン」検討委員会
- ・ 12月 成案（議会）